



『星新一の名言 160選

スター・ワーズ

江坂遊／編 樹立社／発行
2010年10月／刊

“ショートショートの神様”の宇宙。

ショート・ショートという言葉を聞けば、名が挙がるのはこの作家！短いお話のなかに、“ペーソス（悲しみと喜び）”と“ユーモア”を詰め込み、夢のような世界を創造し続けたまさに、短編の神様です。数多に輝く物語を生み出した大作家でありながら、実はテディ・ベアのファンで、不思議な癖をもっていたというような、普通の人間としての彼の素顔が、その言葉の端々から溢れているようです。星新一の次女、星マリナのショートショートも収録。いくつになっても楽しめる星新一ワールドへ、楽しい旅をいたしましょう！

917
H.92

『巨石巡礼

見ておきたい日本の巨石22』

アスペクト編集部／編
アスペクト／発行 2011年5月／刊

圧倒的な存在感を写し出す。

一体いつから、どうやって、何のために、その場所に存在するのか？巨大な石が、不思議なバランスを保ちながら自然の中に佇んでいます。時を経る中で自然と形を成したもの、人工的に積み上げられたものなど様々ですが、石の持つ神秘さを、人々は遙かな過去から眺め、崇め、守ってきました。現代に伝説を伝える巨石群、歴史の教科書に載る有名な墓石、形も様々な奇石など、見ているだけでパワーがもらえそうなその姿を、見事に撮りおさめた写真集です。全国22ヶ所の掲載のうち、佐賀県からは佐賀市「世田姫石神群（よたひめいしがみぐん）」が紹介されています。

291.09
Ky.5

『図説 英国メイドの日常』

村上リコ／著 河出書房新社／発行
2011年4月／刊

あこがれの“メイド”その日常は？いまや誰もが知るメイドというキャラクター。白と黒のフリルやレースがあしらわれた制服、愛らしい笑顔、丁寧な挨拶言葉。身近にない魅力的な存在をイメージし、ちょっとした憧れを抱く人は結構多いのではないでしょうか。けれど、正式な職業としてメイドというものが存在し、メイドであった彼女達がどのような生活をしていたのか、あなたは知っていますか。時は、十九世紀後半から二十世紀初頭。身分階級の厳格な時代に一般的な労働者として屋敷に勤めていたメイド達の日常を、当時の風刺画や記録と共にたどります。

233.06
Mu.43

『幾何学の不思議』

遺跡・芸術・自然に現れたミステリー』
ミランダ・ランディ／著
創元社／発行 2011年4月／刊

丸・三角・四角で何かが始まる！

一次元、二次元、三次元…そう言われてもよくわからない世界です。私たちの世界にはあらゆる数の展開があるそうですが、それってどういうことでしょう？この本では、黒い点から始まり、直線、図形へ変化する幾何学模様の構築、展開が表すもの、数の不思議を追っていきます。小さなハンドブックですが、大きな不思議と謎が詰まっています。理解の先に「なるほどね！」と思えたら、現実の世界が一段と面白く映るかもしれません。

414
L.97

『新しい国語表記 ハンドブック第六版』

三省堂編修所／編
三省堂／発行 2011年5月／刊

「漢字」「表記」を学ぶならば。時代の流れとともに改定されてきた常用漢字。最新の漢字表を載せています。あと助かる筆順付きです！「現代語の書き表し方のすべてが分かる」というコメントの通り、数字や外来語の表記、公用文作成要領など、正しい日本語表記について学べる実用書です。進学・就職に役立ててみてはいかがでしょうか。

811
A.94

『これは本』

レイン・スミス／作 BL出版／発行
2011年4月／刊



E
スミ

『平和のアート彫刻 戦争の記憶』

核のない未来へ 写真集』
藤田観龍／著 本の泉社／発行
2011年1月／刊

美しき像の、平和への祈り。

夏には、戦争に関する特集番組や記事を目にすることが多くありました。消してはならない記憶として語り継がれています。戦争のために命を奪われ、悲しみに胸を痛め涙し、平和を心から祈った人々の、切なる願いを込めた像が、日本各地で静かに佇み、時を刻んでいます。この9月は、9・11同時多発テロから10年目、3月に起こった東日本大震災から半年の月にあたります。様々な出来事で揺れる世界で、消えることはないのは平和への祈りです。この写真集を手に、彫刻が語る思いに耳を傾けてみませんか。

L710.8
F.67

本ならではの、魅力を表現。

アメリカで、その年の最も優れた児童絵本に贈られる、コールデコット賞を受賞した作家からの1冊。愛らしい動物のキャラクター達が教えてくれるのは、本を読むことの良さ。“ツイッター” “wi-fi”などの便利なツールが搭載されている電子機器と比べ、ただ「読むだけ」という極めてシンプルなところが本の魅力なのです。読むことしかできないけれど、手放せない！そんな感覚を知る貴方なら、きっと頷いてくれることでしょう。



■編集 ■ 佐賀県立図書館 企画課
図書館ネットワーク担当

お問い合わせはこちらまで。
次号は10月発行です♪